

情報公開文書

研究課題名	回旋枝入口部病変に対する薬物塗布バルーン治療の有用性に関する検討
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>循環器内科</u> 氏名 <u>小松 稔典</u>
研究期間	承認日 ～ 2020年5月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>薬物溶出性ステント (DES) の時代においても回旋枝入口部の血管内治療の成績は満足しうるものではないことが知られています。薬物塗布バルーン (DCB) は同部位の治療法として期待されているが、その成績はまだ明らかではありません。そこで当院における回旋枝入口部病変に対して DCB で治療した症例の背景と予後を検討することとしました。</p> <p>(研究方法)</p> <p>2016年3月～2019年3月の3年間に、当院で主幹部分枝部を含む回旋枝入口部病変に対して DCB で治療した症例を対象とし、後ろ向きに解析いたします。</p>
試料・情報	<p>(試料・情報の項目)</p> <p>血液検査結果、心臓超音波画像、PCI レポート、カルテデータ</p>
研究対象者	<p>2016年3月～2019年3月に回旋枝入口部を DCB で治療した患者さん</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>
お問い合わせ先	<p>〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>循環器内科</u> 氏名 <u>小松 稔典</u></p> <p>TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439</p>